

見守り 新鮮情報

キャベツを半分に切って
スライサーで調理
していた。**食材が半分**
くらい残っていたのでまだ
大丈夫と思い、安全ホルダー
を使用していなかった
ところ、**思いのほか**
食材が切れる速度が
速かったため、**指を受傷**
した。(60歳代)



気を付けて! スライサーも刃物です

ひとこと助言

油断しないで



見守るくん

- スライサーは便利な反面、鋭利な刃物が付属しているため、使用中に、野菜が小さくなったり、手を滑らせたりすると、指が刃に触れてけがをする危険性があります。スライサーでのけがは指先の皮膚等を削ぎ落とすこともあり、そのような場合は止血しにくく、治療までに期間を要することもあります。使用する際は取扱説明書をよく読み、スライサーも刃物であることを認識し、十分注意して使用しましょう。
- けがを防止するための補助具として、食材をつかむ「安全ホルダー」があります。野菜が小さくなったら、安全ホルダーを使用したり、包丁で調理したりしましょう。
- スライサーは、調理中以外でも、洗う際やスライサーが入っている引き出しからものを取り出す際などに、刃に触れる危険性があります。手入れや保管の際にも気を付けましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第449号 (2023年4月25日) 発行：独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時** (土日祝も可 月曜定休)